

令和2年2月13日

令和2年

第2回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和2年2月13日（木曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	
北 内 英 章	委 員	

2 出席職員（11名）

教育総務部長		後 藤 清
教育総務課長		杉 山 良 樹
教育施設担当課長		鈴 木 龍 一
副参事（教育地域力担当）		元 木 重 成
副参事（施設調整担当）		荒 井 昭 二
学務課長		政 木 純 也
指導課長（幼児教育センター所長兼務）		岩 崎 政 弘
副参事		早 川 隆 之
学校職員担当課長		池 一 彦
教育センター所長		柿 本 伸 二
大田図書館長		中 平 美 雪

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

~~~~~

（午後2時00分開会）

(午後 2 時00分開会)

○教育長

ただいまから、令和 2 年第 2 回大田区教育委員会定例会を開会いたします。  
本日は傍聴希望者がおります。  
委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

それでは、大田区教育委員会傍聴規則第 7 条によりまして、傍聴人の方々は、議場における言論に対して批評を加えたり、または拍手その他の方法で公然と可否を表明することは禁止されておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に弘瀬委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。  
続いて、本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第 1 は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは、私から報告をさせていただきます。

本日報告させていただきますことは 3 件あります。

まず、1 月 28 日に徳持小学校で行われた、海苔の食育の授業についてでございます。

2 点目は、2 月 2 日に武蔵野の森総合スポーツプラザ・アミノバイタルフィールドで行われた中学生駅伝大会についてでございます。

3 点目は、2 月 5 日に教育委員会室で行われました教育実践功労者表彰式・懇談会についてでございます。

まず、1 点目の 1 月 28 日に行われました、徳持小の海苔の食育授業についてです。その授業を参観させていただきました。2 月 6 日は海苔の日ということで、区内の海苔業者の方の申し出で、多くの小中学校で海苔が給食に出されました。それとともに、区内の小学校、五、六校になりますけれども、海苔の業者の方がゲストティーチャーとして、大森の海苔について授業をしていただきました。その授業を参観させていただいたのですけれども、3 年生の授業だったかと思えます。大森の海苔のことがとてもよくわかる、いい授業でございました。

大森の海では現在、海苔はとれておりませんが、この大森での海苔の技術は、今、九州の佐賀県、有明海でそれぞれ受け継がれているようでございます。そこで海苔を育てて、加工している、大森の海苔ですね。

授業では、大森で海苔をとっていたときの貴重なビデオ、フィルムが流されました。それから今、九州の有明海のほうで行われているノリについての過程、製造過程が示されて、とてもわかりやすく、貴重な資料だったというふうに思っています。

3年生は、興味を持って真剣に海苔についての話を聞いていました。

最後に、講師の方が、火にあぶってくれた海苔を、手のひらに入るほどなのですけれども、焼いてくれまして、それを全員で食するというところで終わりました。今、海苔のほうは加工されていて、火であぶって食べるということは今の子どもたちにはないかと思いますが、懐かしい風景で海苔が非常に香ばしくて、大事そうに少しずつ海苔を食べていた子どもたちの姿が大変印象的でした。大森の海苔のおいしさというのを改めて感じたのかなと思います。

授業のほうも1時間ぴったりで終わりました。非常に計算された授業だったなと思いました。

今回は海苔のことでしたが、大田区の産業であるとか社会の生活について、教員以外の方のゲストティーチャー、専門家を招いてお話を聞くというのは、非常にいい取り組みではないかと思ったところです。海苔ばかりではなく、ほかのこともゲストティーチャーを招いてのこういう教育活動が盛んになることを、積極的に取り入れていきたいなと思いました。

2点目は、東京都中学生駅伝大会でございます。2月2日にアミノバイタルフィールドで行われまして、午前中が女子チーム、午後が男子チームでございました。順位的には女子が17位、それから、男子は10位と、昨年よりも少し順位的には劣るところがありますけれども、代表の選手たちが、生徒たちが一生懸命走っている姿は大変印象的でした。よく頑張ったかなと思っています。

特に、順位が、どんどんどんどん下の下位から上がって行って、頑張っていく姿が、大田区の粘り強さというのですかね、諦めずにたすきをつないでいくぞという気持ちがよくあふれていて、非常に感動的でした。

最後に、選手たちにお話をさせていただきましたが、その話を聞く態度というのですか、一つずつの言葉をうなずきながら聞いている、そういう選手の姿を見て、この取り組みの中で、やはり大きく子どもたちは成長したのだなということがよくわかりました。大田区の代表として、練習、本番を迎えて、いい経験ができたのだと思っています。この本番までの経験を、また生徒たちが生かしていただければと思います。

教育は、様々な場で子どもたちに触れ合うところがあると思います。非常に熱心に出場者のほうも頑張りましたし、そういう機会がいろいろなところで大田区の子どもたちにあることが大事なのではないかという感想を持ちました。

最後に、2月5日に教員の教育実践功労者表彰式、それから懇談会を行いました。

今年は5名の先生方が表彰されました。小学校3名、中学校2名、それで、養護教諭の先生が2名という内容でした。いずれも、学校で子どもたちの指導を熱心にやっていただいて、その教育活動が学校だけではなくて、大田区全体にもよい影響というのですか、教

育力を発揮していただいた、そういう先生方の実践でございました。いずれの先生もそれぞれ、子どもたちのことを非常に大事にして活動している、その熱意というのですかね、それを感じました。

中には、中学校の生活指導で 20 年来頑張っていた方の方がいました。大田区の中学校の生活指導は、なかなか難しい時期がございまして、大田区中の学校の先生たちをまとめ上げて、連携を図りながら、子どもたちの健全育成を図っていったという実績があって、素晴らしい先生なのですけれども、非常に謙虚で、子どもたちのために力を合わせることが大事だということで、そういう人柄と指導力が大きな、教育的な業績を上げたのではないかと思います。

今、若い先生たちも増えておりますので、その先生たちの経験、そういうものを若い教員に伝えていただいて、大田区の先生たちの指導力を上げていただくこと、そういう先生がたくさん出ていただくことをお願いして、懇談会をさせていただきました。

以上、3 点ですけれども、印象に残ったことを報告させていただきました。

それでは、委員の皆様からも報告がございましたら、いただければと思います。

#### ○高橋委員

高橋です。

私は 2 月 6 日に志茂田小学校のほうの海苔の食育授業に参加しました。

3 年生の社会科は大田区を学ぶ授業なので、ちょうど大田区の手づねづくりをしていたころの勉強もできるということでしたが、昔の手づね生産のビデオを見てから、現在の機械化された有明海での手づね生産のビデオを見ました。昔の様子は、とても私にとってなじみがあって、懐かしかったのですが、現在の生産については初めて見させていただいたので、大変勉強になりました。

その後に生手づねを触ったり、電熱器であぶって焼いた手づねを私たちもいただいたのですが、大変おいしゅうございました。最後は、今日は 2 月 6 日、手づねの日なので給食にも手づねが出ますと言われて、児童たちはとても満足した様子でした。

志茂田小学校は内覧をしたところですが、その際に見た広い廊下とベンチが、今年の台風のときに、体育館とともに避難スペースとして 1,000 人近い方々を受け入れることができたと聞きました。大変有効活用できたことをうれしく感じました。

以上です。

#### ○三留委員

私は昨日、「おおたの研究発表会」に行っていました。

今日は、発表会の報告と、あわせてキャリア教育について、私のキャリア教育についての考え方、大田区の方針、そういう意味も含めて、話をさせていただきたいと思っています。

私は、「おおたの教育研究発表会」は、これまで何度も参加しているのですが、初めて、分科会形式による発表会に参加しました。保護者の方や中学校の先生方と意見交流をできまして、有意義でした。

全体会の始めに、家庭学習研究推進校の 1 年次の中間報告というのがありまして、北糶

谷小学校と大森第七中の発表がありました。北糀谷小学校は学習カードや自主学習ノート、独自のキャラクターのシールなどを活用して、児童の学習習慣の定着だとか、保護者の家庭学習への関心を高める、そういう取り組みを進めているという発表でした。それから、大森第七中は、生徒の実態把握をまずしっかりやるということで、アンケートをしっかりとって実態把握をしていました。そういう中で、日常の家庭学習に係る自己マネジメント能力を高めていくとい趣旨の話がありました。

昔から、「家庭学習が大事」と言われてきたわけですがけれども、子ども自身が自分に合った学ぶ方法を自覚して、計画的に取り組んでいけるような取り組みの紹介で、ぜひ大田区の各学校で参考にして、家庭学習の充実を図ってもらいたいと思いました。

それから、分科会は、第4分科会、「学びに向かう力、人間性等への涵養分科会」に参加をしました。内容は、大森第三中学校の不登校防止の発表、それから、矢口中学校のキャリア教育の取り組みの実践報告でした。どちらも、チーム学校という中で情報共有を進めて、成果を上げているというような印象を受けました。二つともいい発表でした。

私は、矢口小学校の研究発表会の日、所用があって行けなかったのですが、この分科会で発表概要を聞きましたので、矢口小学校の実践も含め、キャリア教育について話をさせていただきたいと思います。

キャリア教育については、平成 18 年に教育基本法が改正されて、これを受けて、学習指導要領に小中学校とも自己の生き方などに関わって、よりよい自己決定をするというようなことなど、キャリア教育に関わる記述が増えてきました。教員研修に中堅教員研修、10 年目の先生がやる研修なのですが、この研修ではキャリア教育が必修になっています。今後、キャリア教育については、一層その重要性というのが増してくると思っております。

おおた教育ビジョンでも、プラン2の学力向上の中にキャリア教育を挙げています。事業として、地域ボランティアを活用した教育、職場体験、共同学習を取り入れた授業というのが挙げられています。職場体験は、大田区の各中学校で大変充実しているのではないかと私は思っています。望ましい勤労観だとか職業観を身につけさせるためには大変有効だと思っております。それから、地域ボランティアを活用した職業に関わる授業についても、多くの中学校で進められていると思っております。その中で、矢口小学校は積極的に取り組みを進めて、成果を上げているという感じがいたしました。

こういう成果がもちろんあるのですけれども、キャリア教育は、今後、生き方教育という視点で取り組みの改善を図っていく必要があると私は思っております。一昔前は、進路指導というと学校の選択だとか職業に係る指導と、こういうのが中心だったわけですがけれども、平成 14 年に国立教育政策研究所がキャリア教育に係る4領域8能力論を発表してから、大きく方向性が変わっていったと私は捉えています。

その後、平成 23 年に中央教育審議会から「今後の学校教育におけるキャリア教育、職業教育のあり方」という答申が出されて、この4領域8能力論が見直されて、基礎的・汎用的能力の確実な育成、これが言われるようになりました。

矢口中学校の研究の特色は、まさにこの基礎的汎用的能力の育成のための取り組みをしているということです。基礎的・汎用的能力というのは四つ能力がありまして、一つは人間関係形成力・社会形成力、二つ目は自己理解・自己管理能力、三つ目が課題対応能力、四つ目がキャリアプランニング能力、この四つの能力です。矢口中学校では、さらにこの

四つの基礎的・汎用的能力と今回の学習指導要領の実施にかかわって評価の観点として出された「知識・技能」「思考力・表現力・判断力」「学びに向かう力、人間性等」の三つとの相関マトリックスを作成しています。これを日常の授業の実践に生かしているということで、まさに先進的な取り組みをしていると感じております。

これからの学校というのは、生涯にわたり、社会人、職業人としてのキャリア形成を支援していく機能の充実を図ることが大切となると思っています。矢口中学校の取り組みというのは、そのモデルになるのではないかなと思っています。

大田区の各小中学校において、各学校の実態に合わせて、生き方教育としてのキャリア教育の充実を図ってもらいたいと思います。

以上です。

#### ○教育長

ほかにございますか。

#### ○深澤委員

深澤でございます。

私は、山王小学校の海苔の食育の授業に参加いたしました。

子どもたちが講師の先生の質問に対して、あらかじめ自ら調べて来ていた知識を使って答えているところに感心をしました。年間に海苔は何枚作られると思いますかという質問に対していろいろな意見を出しながらも、50万枚くらいかなというように、子どもたちが主体的に調べて授業に臨んでいたという姿勢を感じたところに感心いたしました。

海苔の食育という観点だけではなく、先ほどから高橋委員や教育長からご説明があったように、ビデオなどを見まして、大田区の歴史について学ぶことができたのもよかったと思っています。特に、大田区では中央防波堤の問題がありますが、現在の中央防波堤のあたりに大森や羽田から船をこいでいって、海苔を養殖していたというような説明がありました。現在大田区で起こっている問題についても、子どもたちが将来的に何か心に残るものがあるのではないかと思います。社会的にも、歴史的な観点からも、非常に有意義な授業であったと思っています。

今回は開催した学校が4校と聞いているのですけれども、これを大田区全域に広めていく、また、海苔だけではなく、違った形で大田区の歴史、または産業について、子どもたちが理解を深めていけるような機会を増やしていただければと思いました。

以上です。

#### ○弘瀬委員

私は、2月2日の日曜日の第11回中学生「東京駅伝」大会を見に行きました。

澄み切った青空のもと、走ると少し汗ばむほどの気温の中、元気に走っている姿に、ついこちらも、頑張れと声を出してしまうほど興奮いたしました。

昨年12月8日の日曜日に池上会館で結団式を行い、各自が体調管理し、当日を迎え、最後まで一生懸命走り、たすきをつないでいくことは、大変よい思い出になると確信しています。走り終えた選手が後を走る選手を応援しているときに、友達のお母様に、

「よく頑張ったね」と声をかけられていました。走り終えた選手は応援されると、そこでまた勇気をもってまた頑張って走れる、練習はきつかったけれど、楽しい思い出になったと話しているのを聞いて、それはよかったなと思いました。

午前中の女子の部では、三区までは42位と、心配していましたが、最後は17位まで上り詰め、残念ながら、去年の5位までには届きませんでした。すがすがしい走りを見せていただきました。

以上です。

#### ○北内委員

北内です。

私も、東京駅伝と教育実践功労者表彰に出席させていただきました。私からは、東京駅伝について報告いたします。

まず最初に、大会を運営、支えてくださった先生方、PTAの方、関係者の方々に感謝申し上げます。

この東京駅伝の趣旨を読むと、その中に、全部は読みませんが、中学校期における健康増進、持久力等の体力向上というのが書かれています。過去の大会のデータも見て、本当にそうなっているかなというのを調べてみました。

使用したデータは、東京駅伝の選抜選手、中学2年生ですね、過去計8大会です。今回の大会のデータはまだ集計されていなかったもので、過去10回です。そのうち2回と5回は、東日本大震災と記録的大雪で中止となって8回です。それぞれ女子の部と男子の部に分けて、東京都50区市町村、女子は50チーム、男子は51のときもありました。会場は、第1回大会が晴海埠頭で、1回はアミノバイタル、それ以外は味の素です。よって、使用したデータは選手も違うし、フィールドも異なるデータになります。

まず最初に、女子の部を見てみました。これはグラフをお見せしても大丈夫ですか。グラフなのですけれども、縦軸にタイムを書いていて、上に行くほど早くなります。横軸は1回から10回までの大会です。このグラフだけだと、ちょっと何が起きているかわからないのですが、女子の部で、平均タイムと最速タイムと、最下位のタイム、それから、最速タイムと最下位のタイムのタイム差を各大会ごとに出しました。すると、すごくおもしろい結果が出て、平均タイムも上がっているし、最速タイムも向上しているし、最低タイムも向上しているのですよ。さらに、この変動幅、1位から50位のタイム差も縮んでいっているのです。これはタイム差なのですけれども、どんどん縮んでいっているのです。

それから、競技なので順位はつきますよね。でも、順位って、今回の大会でもありましたけれども、スーパースターが一人出たら、ごぼう抜きしてしまうのです。だから、タイムが重要なと、絶対的なタイム。それで、全部向上しているのです。

同じことをまた男子の部もやってみたのです。同じです。男子も同様の結果です。ずっと向上しています。

大田区のこと、気になりますよね。大田区はすごく、平均タイムより上で、最速タイムとちょうど真ん中か、それよりいいくらいを進んでいるのです。しかも、タイムがどんどん縮んでいるのです、男子の部も。このオレンジ、黄色です。

だから、ちょっとまとめますと、東京駅伝、体力向上の一つの指標と見たときに、確か



にその成果は出ているなどということが見られました。順位は相対的なものなので、タイムではかるのがいいかなど。平均タイムも、変動幅も縮んでいっていますので、これは、やはり選手の練習、努力もありますけれども、先生方のご指導、ご尽力が大きいのかなというのを感じました。大田区はすごく頑張っているなどというのがよくわかりました。

以上です。

○教育長

ありがとうございます。年々、タイム向上がね。

○北内委員

はい、よく。

○教育長

ありがとうございました。

ほかに、ご意見は何かありますか。よろしいですか。

それでは、今回はこれもちまして、令和2年第2回教育委員会定例会を終了いたします。

(午後2時30分閉会)